【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法ｂ		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
増田　洋介	B310	yosuke.masuda		水曜日　12:10～13:00	

授業の目的・概要	＜目的＞ソーシャルワークの面接と記録の目的・方法に関する理解と基礎的な技術の習得、ケアマネジメント、グループワーク、コミュニティワーク、ソーシャルアドミニストレーション、ソーシャルアクション、スーパービジョンとコンサルテーションの目的と方法について理解することを目的とする。 ＜概要＞支援を必要としている本人だけでなく、その人を取り巻く環境や地域社会に働きかけていくために実践上で求められる知識や方法について理解を深めるため、教科書や資料をもとにグループワークを取り入れた講義を行う。
授業形式・方法	☑対面授業　☑講義　□演習　□PBL　□反転授業　□ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ □遠隔授業(双方向型)　□実習　□実技　☑ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ　□ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ　□実習・ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ □遠隔授業(自主学習)　□その他　（　　）
学習上の助言	授業中やリアクションペーパー、オフィスアワーを活用し、授業内容について理解を深めてほしい。授業で取り上げる各内容について系統立てて整理し、学習を進めてほしい。
教科書	最新　社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座 12　ソーシャルワークの理論と方法［共通科目］/編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版
参考書	特になし
外部教材	特になし

	学生が達成すべき行動目標	関連卒業認定・学位授与方針
①	ソーシャルワークの面接の目的と方法を理解し、基礎的技術を習得できる。	HSU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(2)、(3)、(4)
②	ソーシャルワークの記録の目的と方法を理解し、基礎的技術を習得できる。	HSU(1)、(2)、(4)、HC(1)、(3)、(4)
③	ケアマネジメント、グループワーク、コミュニティワークを理解し、説明できる。	HSU(1)、(2)、(3)、(4)、HC(1)、(2)、(3)
④	ソーシャルアドミニストレーション、ソーシャルアクションを理解し、説明できる。	HSU(1)、(2)、(3)、(4)、HC(1)、(2)、(3)
⑤	スーパービジョンとコンサルテーションを理解し、説明できる。	HSU(1)、(2)、(3)、(4)、HC(1)、(2)、(3)
⑥		

授　業　計　画

回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	[オリエンテーション] 授業の進め方、評価方法、学習方法を理解する。	講義	シラバスを精読する。	4
2	[ソーシャルワークの面接①] 面接の意義と目的、方法、留意点について学ぶ。	講義	教科書第 8 章を精読する。	4
3	[ソーシャルワークの面接②] 面接の技法について学ぶ。	講義・GW		4
4	[ソーシャルワークの記録①] 記録の意義と目的、記録の内容について学ぶ。	講義	教科書第 9 章を精読する。	4
5	[ソーシャルワークの記録②] 記録の作成方法について学ぶ。	講義・GW		4
6	[ケアマネジメント(ケースマネジメント)] ケアマネジメント(ケースマネジメント）の原則、意義と方法について学ぶ。	講義	教科書第 10 章を精読する。	4
7	[グループを活用した支援①] グループワークの意義と目的について学ぶ。	講義	教科書第 11 章を精読する。	4
8	[グループを活用した支援②] グループワークの展開過程、セルフヘルプグループについて学ぶ。	講義		4
9	[コミュニティワーク①] コミュニティワークの意義と目的、展開について学ぶ。	講義	教科書第 12 章を精読する。	4
10	[コミュニティワーク②] コミュニティワークの理論的系譜とモデルについて学ぶ。	講義		4
11	[ソーシャルアドミニストレーション] ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義、組織介入・組織改善の実践モデル、組織運営における財源の確保について学ぶ。	講義	教科書第 13 章を精読する。	4
12	[ソーシャルアクション①] ソーシャルアクションの概念と意義について学ぶ	講義	教科書第 14 章を精読する。	4

13	[ソーシャルアクション②] コミュニティ・オーガナイジングについて学ぶ。	講義		4
14	[スーパービジョンとコンサルテーション] スーパービジョンの意義・目的・方法、コンサルテーションの意義・目的・方法について学ぶ。	講義	教科書第 15 章を精読する。	4
15	[まとめ] 授業全体の総括を行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。	4
試	定期試験　達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	5	0	0	0	0	5
	コミュニケーション力	5	0	0	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント				フィードバックの方法
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	
試験	①	✓	期末試験を実施し、記述式および選択式の問題を出題する。行動目標①～⑤について総合的な達成度を判断できるよう出題し、評価する。	正答や模範解答を Teams で公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。授業内容の理解や取り組み状況等を確認し、評価する。	次回授業時にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			

備　考	
他担当教員	なし
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 7 年の実践経験を有する
実践的授業の内容	教員自身の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。
その他	• 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 • 今後の新型コロナウィルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。